

交 流 推 進 部

1. 部総括表

部名：交流推進部
(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
7-1	交流推進課	(238,433) 2,408,126	(225,283) 2,159,138	202,732	(13,150) 46,256	
7-2	観光振興課	489,586	477,234		12,352	
7-3	交通政策課	(870,721) 3,072,937	(850,777) 2,431,889	601,392	(19,944) 39,656	
7-4	空港振興課	(47,000) 1,567,841	(47,000) 1,528,029		39,812	
7-5	県産品振興課	432,908	401,537		31,371	
	部計	(1,156,154) 7,971,398	(1,123,060) 6,997,827	804,124	(33,094) 169,447	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：交流推進課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-1-1	給与費	296,839	296,669		170	交流推進課職員の給与費 給料149,745、職員手当等94,894 共済費52,030
7-1-2	交流推進事務費	11,347	11,247		100	交流推進課の運営等に要する経費
7-1-3	県立公園等維持 管理事業	(16,059) 194,546	(15,970) 166,298	26,750	(89) 1,498	県立公園施設整備等事業 主要施策の成果の概要 (7-1-3)に記載
7-1-4	栗林公園特別会 計繰出金	75,525	50,983		24,542	一般会計から栗林公園特別会計へ 繰り出すもの
7-1-5	県立公園施設整 備事業	(59,998) 108,213	(55,405) 72,551	31,008	(4,593) 4,654	県立公園施設整備等事業 主要施策の成果の概要 (7-1-3)に記載
7-1-6	瀬戸大橋記念公 園管理運営等事 業	(12,800) 195,911	(12,300) 179,610	15,800	(500) 501	瀬戸大橋記念公園の管理運営に要する経 費のうち、瀬戸大橋記念公園施設整備事 業を主要施策の成果の概要(7-1-3)に 記載
7-1-7	坂出緩衝緑地管 理運営事業	(1,500) 64,650	(1,339) 56,078	7,916	(161) 656	坂出緩衝緑地の管理運営に要する 経費
7-1-8	栗島海洋記念公 園管理運営事業	(97,780) 243,241	(97,459) 166,798	76,115	(321) 328	栗島海洋記念公園の管理運営に要する経 費のうち、栗島海洋記念公園施設整備事 業を主要施策の成果の概要(7-1-3)に 記載
7-1-9	県立公園等活性 化事業	(40,700) 92,463	(35,825) 65,989	21,461	(4,875) 5,013	県立公園施設整備等事業 主要施策の成果の概要 (7-1-3)に記載
7-1-10	コンベンション 開催等による交 流推進事業	64,375	58,931		5,444	交流推進事業 主要施策の成果の概要 (7-1-10)に記載
7-1-11	地域密着型ス ポーツ応援事業	71,670	71,598		72	交流推進事業 主要施策の成果の概要 (7-1-10)に記載
7-1-12	世界レベル競技 会関連事業	20	20			2025年世界陸上競技選手権大会の 事前合宿誘致に要する経費
7-1-13	かがわマラソン 実施事業	170,341	170,341			交流推進事業 主要施策の成果の概要 (7-1-10)に記載
7-1-14	県立アリーナ周 辺での夜型観光 推進事業	340,000	340,000			交流推進事業 主要施策の成果の概要 (7-1-10)に記載
7-1-15	サンポート高松 交流拠点施設等 管理事業	(9,596) 478,678	(6,985) 446,682	23,682	(2,611) 8,314	サンポート高松交流拠点施設等の 管理運営に要する経費
7-1-16	駐車場事業特別 会計繰出金	307	5,343		▲ 5,036	一般会計から駐車場特別会計へ繰 り出すもの
	課計	(238,433) 2,408,126	(225,283) 2,159,138	202,732	(13,150) 46,256	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R8.3.31現在)

課名：交流推進課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
交流推進課	(10) 30	[3] (1) 8	[3] (11) 38	(公社)瀬戸大橋記念公園管理協会派遣1名 市併執職員3名、育児休業2名
栗林公園観光事務所	16	10	26	
合計	(10) 46	[3] (1) 18	[3] (11) 64	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[]内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
県立公園施設整備等事業（7-1-3） 1. 趣旨・概要 栗林公園については、本来の魅力である庭園美を生かし、春・秋のライトアップ、薪能等のイベントを開催するなどして、国内外からの来園者の満足度向上を図った。 また、県立公園については、清掃、草刈りの日常の維持管理や施設改修・修繕を行い、快適で安全な公園環境を維持するとともに、より快適な公園を目指して施設整備等を行ったほか、琴林公園や琴弾公園を起点とする地域の活性化を図るため、施設整備等に取り組んだ。 2. 具体的内容 （1）栗林公園活性化事業（75,193千円） ①南湖での和船周遊 船頭の解説を聞きながら約30分かけて南湖を一周する和船の運航を行った。 ②春・秋のライトアップ 平成13年秋から実施しており、秋のライトアップについては、期間中の夜間入園者数が歴代5位となった。 ③庭師のガイドツアー（ゼロ予算事業） 栗林公園の日々の手入れを、解説付きで案内するとともに、参加者に庭木の手入れのポイントをアドバイスするガイドツアーを5月、10月に実施した。 ④海外庭園交流事業 米国の庭園との交流を通じた情報発信により、栗林公園の認知度向上及び誘客促進を図るもので、海外庭園で栗林公園を紹介するパネルを作成するとともに、栗林公園で海外庭園を紹介するパネル展を開催した。 ⑤栗林公園薪能開催事業 公園の魅力やブランド力の向上を図るとともに、国内外からの観光誘客に繋げるため、薪能を開催した。 （2）県立公園等施設整備維持管理事業（403,421千円） ①県立公園等維持管理事業（145,210千円） 県立公園における松くい虫薬剤防除や被害木の伐採などの維持管理等を行った。 ②県立公園施設整備事業（72,551千円） 栗林公園の掬月亭保存修理に伴う実施設計、琴弾公園の照明灯改修、桃陵公園のベンチ改修等を行った。 ③瀬戸大橋記念公園施設整備事業（22,238千円） 藤棚の整備のほか、記念館空調設備等の実施設計を行った。 ④栗島海洋記念公園施設整備事業（163,422千円） 栗島海洋記念館本館の耐震改修工事を行った。	令和7年度の栗林公園の入園者数は、瀬戸内国際芸術祭、大阪・関西万博の開催や、前年度に引き続き、円安効果の影響によるインバウンドの増加に伴い、令和6年度比106.3%と増加した。 入園者数（内訳：外国人入園者数） 令和5年度 689,856人(144,755人) 令和6年度 764,354人(217,340人) 令和7年度 812,132人(235,634人) 春・秋のライトアップ夜間入園者数 令和7年 春 18,814人 秋 26,520人 和船の乗船者数 令和5年度 27,906人 令和6年度 33,041人 令和7年度 33,606人 県立公園について、効率的な維持管理及び計画的な施設整備や改修工事等ができた。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
(3) 県立公園等活性化事業 (65,989 千円) ① 県立公園等活性化事業 (琴林公園) (47,104 千円) 琴林公園を起点とした地域の活性化を図るため、施設整備等を行い、津田の松原においてマルシェを開催するなどにぎわいづくりに取り組んだ。 ② 県立公園等活性化事業 (琴弾公園) (18,885 千円) 琴弾公園を起点とした地域の活性化を図るため、山頂展望台改築に伴う基本設計、砂絵投光器改修に伴う実施設計等を行った。	KINRIN マルシェ 実施日：令和7年11月1日、2日 来場者数：約3,400人

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
交流推進事業（7－1－10） 1. 趣旨・概要 交流人口の拡大に向けて、コンベンションをはじめとするMICEやクルーズ客船の誘致、地域密着型スポーツチームの活用に取り組んだ。 2. 具体的内容 （1）コンベンション開催等による交流推進事業（58,931 千円） ① コンベンション開催等支援事業（25,166 千円） 県内のコンベンション施設等を利用した国際会議、全国大会及び学会等を誘致したほか、サンポート高松におけるにぎわい創出のため、補助を行った。 （i）コンベンション等開催支援事業 県内で開催される国際会議、全国大会及び学会の誘致を促進するため、主催者団体に対し補助を行った。 （ii）サンポート高松交流推進事業 サンポート高松のにぎわい創出を目的として、（公財）高松観光コンベンション・ビューローが行うサンポート高松にぎわい創出事業等について、補助を行った。 ② MICE誘致推進事業（5,391 千円） 「香川県MICE誘致推進協議会」に負担金を拠出し、同協議会の取組みを通じて、コンベンション主催者団体への誘致活動、県内で開催するコンベンションの開催支援、MICE啓発セミナー等を実施した。 ③ クルーズ客船誘致推進事業（28,374 千円） クルーズ客船の高松港への誘致を図るため、クルーズ船社等への誘致活動を行うとともに、寄港時の歓迎イベントを実施した。 （i）誘致活動の実施 クルーズ船社や旅行代理店等を訪問し、高松港へのクルーズ客船の誘致に努めた。 （ii）歓迎イベントの実施 クルーズ客船の寄港時に、郷土色豊かなアトラクション等を実施し、歓迎した。 （2）地域密着型スポーツ応援事業（71,598 千円） ①香川プロスポーツサポート事業（41,000 千円） 県と17市町で構成する「香川県地域密着型スポーツ活用協議会」に負担金を拠出し、地域密着型スポーツチームの地域に根差した活動の促進を図った。	3. 指標 MICEの参加者数（人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目 標 値 （ R 8 ）</th></tr><tr><td>42,382</td><td>102,490</td><td>66,000</td></tr></table> MICE開催件数（件） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目 標 値 （ R 8 ）</th></tr><tr><td>111</td><td>220</td><td>205</td></tr></table> 令和7年度交付実績 16件 （国際会議5件、全国大会及び学会11件） クルーズ客船の高松港への寄港実績 令和7年度：21回（初寄港6回） 各チーム合計の観客動員数 令和7年シーズン：146,953人	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目 標 値 （ R 8 ）	42,382	102,490	66,000	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目 標 値 （ R 8 ）	111	220	205
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目 標 値 （ R 8 ）											
42,382	102,490	66,000											
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目 標 値 （ R 8 ）											
111	220	205											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
(i) 交流事業 各種スポーツ教室やイベントへの選手派遣を行ったほか、試合会場における地域特産品のPRや住民の招待等を行うホームタウンデイを実施した。 また、キャリア教育を学ぶ機会の創出やボランティア人材の育成を図ることを目的として、県内小中学生を対象に、試合やイベント運営等を体験してもらう職業体験イベントを実施した。 (ii) 情報発信事業 商業施設やJR駅等で、幅広い世代に向けて、各チームの試合情報や魅力をPRしたほか、チームが遠征先で実施した本県をPRする活動に対して補助を行った。 また、中四国のJリーグチームの自治体との連携イベントを実施した。 (iii) 地域密着型支援による応援機運醸成事業 公式戦の施設使用料及びシャトルバスの運行経費に対する助成を実施した。 ② 地域密着型スポーツ魅力向上事業 (29,967 千円) 様々な地域資源を活用したイベントや情報発信により、試合観戦の魅力向上と観戦機運の醸成に努めるとともに、ファンと選手との交流などを通じて球団の魅力発信に取り組んだ。 ③ イベント開催による交流推進事業 (631 千円) 地域密着型スポーツチームを活用した本県のPRを行うほか、四国4県連携による優秀選手表彰などにより、地域密着型スポーツチームの認知度向上に努めた。 (3) かがわマラソン実施事業 (170,341 千円) スポーツ文化の醸成を図るとともに、地域資源の魅力を県内外に発信し、にぎわいの創出や交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化につなげるため、県内で初となる日本陸連公認の大規模マラソン大会「かがわマラソン2026」を開催した。 (4) 県立アリーナ周辺での夜型観光推進事業 (340,000 千円) 夜型観光の推進を図るため、サンポート高松地区の新たなシンボルとなる県立アリーナとその周辺空間を生かしたイベントの一つとして、県立アリーナを活用したプロジェクションマッピング及びクリスマスマーケットを行い、その開催に合わせて観賞クルーズを実施した。	選手派遣実績 令和7年度：78 件 ホームタウンデイ開催実績 令和7年度：22 試合(8市6町) かがわマラソン2026 開催日：令和8年3月15日 マラソン出走者数：10,439 人 ボランティア：延べ約3,300 人 EXPO 来場者数：約70,000 人 (14日、15日の両日合計) 沿道等での応援者数：約100,000 人 プロジェクションマッピング (ハロウィン) 実施日：令和7年10月29日 ～10月31日 来場者数：約52,000 人(3日間合計) プロジェクションマッピング (バレンタイン) 実施日：令和8年2月13日～2月15日 来場者数：約36,000 人(3日間)

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
	クリスマスマーケット 実施日：令和7年12月3日 ～12月25日 来場者数：約453,000人（14日間合計） プロジェクションマッピング観賞クルーズ 実施日：令和8年2月13日、2月14日 乗船者数：約600人（2日間合計） クリスマスクルーズ 実施日：令和7年12月24日 ～12月25日 乗船者数：約500人（2日間合計）

2. 課総括表

課名：観光振興課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-2-1	戦略的観光情報発信事業	68,504	66,817		1,687	主要施策の成果の概要 (7-2-1) に記載
7-2-2	観光施設等情報環境維持管理事業	1,314	899		415	県有の観光施設や交通施設に設置したWi-Fiスポットの維持管理及び広報に要する経費
7-2-3	「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業	33,859	32,967		892	主要施策の成果の概要 (7-2-3) に記載
7-2-4	滞在型観光推進事業	69,112	66,451		2,661	主要施策の成果の概要 (7-2-4) に記載
7-2-5	魅力ある観光地づくり推進事業	14,744	14,701		43	観光客受入態勢整備事業 主要施策の成果の概要 (7-2-5) に記載
7-2-6	癒しの四国観光推進事業	39,828	39,826		2	広域観光推進事業 主要施策の成果の概要 (7-2-6) に記載
7-2-7	観光振興対策推進事業	13,870	13,746		124	(公社)香川県観光協会への人的・財政的支援に要する経費
7-2-8	他県連携相互誘客事業	4,079	3,812		267	「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業 主要施策の成果の概要 (7-2-3) に記載
7-2-9	瀬戸内ブランド推進事業	26,576	26,300		276	広域観光推進事業 主要施策の成果の概要 (7-2-6) に記載
7-2-10	給与費	142,571	142,449		122	観光振興課職員の給与費等 給料73,418、職員手当等 44,685、共済費24,346
7-2-11	観光事務費	3,271	3,149		122	観光振興課の運営等に要する経費
7-2-12	観光客の利便性・満足度向上事業	16,258	14,921		1,337	観光客受入態勢整備事業 主要施策の成果の概要 (7-2-5) に記載
7-2-13	持続可能な受入環境整備事業	21,000	19,024		1,976	観光客受入態勢整備事業 主要施策の成果の概要 (7-2-5) に記載
7-2-14	「万博後も香川へ！」誘客促進事業	34,600	32,172		2,428	「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業 主要施策の成果の概要 (7-2-3) に記載
	課計	489,586	477,234		12,352	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R8.3.31現在)

課名：観光振興課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
観光振興課	(3) 18	[1] 2	[1] (3) 20	(一社)せとうち観光推進機構派遣 1 名 (一社)四国ツーリズム創造機構派遣 1 名 市町併執職員 1 名
合計	(3) 18	[1] 2	[1] (3) 20	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を〔 〕内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
戦略的観光情報発信事業（7-2-1） 1. 趣旨・概要 旅行先や購入先として「選ばれる香川」を目指し、本県の認知度及びブランド力の向上に継続的に取り組むとともに、首都圏などを中心とした県外市場に向けて効果的な情報発信を行った。 2. 具体的内容 (1) うどん県アート県ブランドプロモーション事業 (59,236 千円) 本県の認知度やブランド力の向上を図るため、テレビ、雑誌等、各種媒体に本県のコンテンツが取り上げられるようパブリシティ活動を行うとともに、企業と連携したPRや雑誌での広告等による情報発信を行った。また、首都圏や関西圏の駅構内において交通広告等を実施した。 (2) ウェブ観光情報発信事業（4,706 千円） 本県への誘客促進を図るため、観光スポット、地元グルメ、アクセスなど観光客等が必要とする旬できめ細かな観光情報を香川県公式観光サイト「うどん県旅ネット」で提供した。 (3) 魅力発見ハッシュタグキャンペーン事業 (2,875 千円) 訪れた本県の観光地等で写真を撮影し、「#（ハッシュタグ）」に指定する言葉を付けてSNSに投稿した観光客等に、抽選で県産品等の景品が当たるキャンペーンを実施し、認知度の向上や県外からの誘客促進を図った。	3. 指標 県外観光客数（暦年）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>7,770</td><td>9,734</td><td>10,171</td></tr></table> パブリシティ活動 WEB・新聞等：掲載件数 270 件 テレビPR：9本 約 76 分 SNSフォロワー数 X：20,954 人 Instagram：50,167 人 Facebook：7,571 人 「うどん県旅ネット」アクセス数 （ページビュー数）：年間 5,583,277 件 第1期投稿数：4,360 第2期投稿数：約 5,000 合計：約 9,360 インスタグラムの仕様変更により、第2期は詳細な投稿件数が表示されなくなった。	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	7,770	9,734	10,171
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）					
7,770	9,734	10,171					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業（7－2－3） 1. 趣旨・概要 県内全域に観光客の誘致を図るため、琴平、栗林公園、屋島、小豆島といった老舗観光地を中心に、イベントや情報発信などを行う誘客キャンペーンを実施した。 2. 具体的内容 （1）旅行商品誘客促進事業（2,886 千円） 本県への誘客促進を図るため、県内での宿泊を伴うバスツアーの造成経費の一部を助成した。 （2）サイクリング誘客促進事業（1,884 千円） サイクリストの誘致を図るため、基幹ルート及び地域ルートを掲載した全県版パンフレットや県内イベントチラシを配布するなど、サイクリストの受入環境を整備した。 （3）新たな旅行需要開拓事業（15,796 千円） 大阪・関西万博を契機に、瀬戸内海、アート、遍路等のコンテンツを生かした旅行商品の造成やプロモーション活動による新たな市場を開拓するため、国内航空路線誘致に向けた航空会社や旅行会社に対する働きかけや、富裕層の誘客促進に向けた旅行会社に対するFAMツアーを実施した。 （4）「万博後も香川へ！」誘客促進事業（32,172 千円） 大阪・関西万博を契機とした本県への誘客促進を図るため、OTA事業者との連携により、体験型・周遊型コンテンツの造成、販売を行った。また、閑散期における県内誘客促進のため、宿泊料の割引クーポンを配付した。 また、本県への周遊・滞在型の旅行商品の造成・販売が行われるよう、大手旅行会社と連携し、万博のテーマ（例：SDGs）を意識した体験コンテンツの一覧の作成や、モニターツアー等の実施・検証を行い、顧客ニーズの実態を把握することにより、一層の誘客促進に取り組んだ。	3. 指標 県外観光客数（暦年）（再掲）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>7,770</td><td>9,734</td><td>10,171</td></tr></table> 延宿泊者数（暦年）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>3,240</td><td>4,932</td><td>4,931</td></tr></table> バスツアー：88 件 4,201 人 国内航空路線誘致に向けた市場開拓 チャーター便造成・広告支援：4 社 富裕層向け旅行会社に対するFAMツアー：6 回実施 体験型・周遊型コンテンツの造成数：26 コンテンツ 閑散期の宿泊割引クーポン利用による人泊数：3,913 人 モニターツアーの造成・販売数 宿泊：10 コース 33 本造成・販売 日帰り：27 コース 95 本造成・販売 ツアー参加者数：1,192 人	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	7,770	9,734	10,171	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	3,240	4,932	4,931
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）											
7,770	9,734	10,171											
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）											
3,240	4,932	4,931											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
(5) 他県連携相互誘客事業 (3,812 千円) 香川県・兵庫県または香川県・岡山県の両県を周遊する旅行商品の造成・販売や新たな高付加価値コンテンツの造成など、他県と連携して認知度向上や新たな市場開拓につなげる取り組みを行い、誘客促進を図った。	兵庫県連携：5 コース造成・販売 富裕層向けコンテンツ造成 岡山県連携：デジタルスタンプラリー スタンプラリー実施期間： 8 月 1 日～10 月 31 日 スタンプ設置箇所： 30 か所 (両県 15 か所ずつ) 参加者実数：1,481 人 スタンプ累計押印数：5,173 個

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
滞在型観光推進事業（7－2－4）	3. 指標						
1. 趣旨・概要	県外観光客数（暦年）（再掲）（千人）						
観光圏整備法に基づき認定を受けた「香川せとうちアート観光圏」において、本県への誘客・滞在につなげるため、市町や市町観光協会、観光事業者などと連携し、圏域での周遊・連泊の促進や、来訪者への情報発信などに取り組んだ。	<table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>7,770</td><td>9,734</td><td>10,171</td></tr></table>	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	7,770	9,734	10,171
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）					
7,770	9,734	10,171					
2. 具体的内容	延宿泊者数（暦年）（再掲）（千人）						
（1）香川せとうちアート観光圏滞在促進事業 (8,612 千円)	<table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>3,240</td><td>4,932</td><td>4,931</td></tr></table>	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	3,240	4,932	4,931
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）					
3,240	4,932	4,931					
①体験型旅行商品の造成・農泊推進	県外観光客観光消費金額（暦年） (億円)						
観光コンテンツの造成及び農泊の推進に関するワーキンググループを設置し、観光客の滞在を促進するコンテンツの造成に向けた検討や農泊推進のための広報等を行った。	<table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>1,077</td><td>1,864</td><td>1,637</td></tr></table>	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	1,077	1,864	1,637
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）					
1,077	1,864	1,637					
②観光地域づくりに資する人材の育成							
地域の観光振興を担う人材として、観光庁が認定する「観光地域づくりマネージャー」のステップアップ研修に本県のマネージャーを派遣するとともに、新たに2名が育成セミナーを修了し、マネージャーの認定を受けた。							
（2）持続可能な観光地域づくり支援事業（12,605 千円）	補助件数：8 件						
持続可能な観光地域づくりを目指し、民間事業者等が実施する観光客の継続的な来訪や長期滞在を促進すること等を目的とした観光コンテンツの造成や誘客イベントに要する経費の一部を補助した。	補助対象事業の延べ来場者数 ：約 159,980 人						
（3）瀬戸内クルーズ事業（20,868 千円）	実施日：令和7年10月3日～5日						
多島美を誇る瀬戸内海に面したウォーターフロントの優位性を生かした高付加価値な観光コンテンツの造成に向け、瀬戸内クルーズの造成・販売等を行った。	2 コース 6 本催行						
	乗船者数：1,543 人（3日間合計）						
（4）アートを巡るツアー事業（7,073 千円）	2 コース 5 本催行						
本県の強みの一つであるアート・建築をつなぐ新たな観光コンテンツの造成に向け、県内の美術館や建築を巡る高松港発着のバスツアー等の造成・販売等を行った。	ツアー参加者数：72 人						
（5）マザーポートイベント事業（17,293 千円）	真夏の夜の夢 2025						
地域の魅力を発信し、観光客の滞在時間と観光消費額の増大を図るため、県内の島々を結ぶマザーポートの一つである高松港で実施する、夜型観光イベントに要する経費の一部を補助した。	実施日：令和7年8月2日～8月10日						
	来場者数：約 64,200 人（9日間合計）						

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																		
観光客受入態勢整備事業（7－2－5） 1. 趣旨・概要 本県を訪れる観光客の満足度と利便性の向上を図るため、おもてなし力の向上や、魅力ある観光情報の提供、Wi-Fi スポットの整備など、観光客の受入態勢の充実・強化を行った。 また、魅力ある観光地づくりを推進するため、観光香川おもてなし運動を推進し、全県的なおもてなしの機運の醸成を図った。 2. 具体的内容 （1）外国人観光案内所運営事業（10,647 千円） 来訪する外国人観光客の利便性の向上等を図るため、多言語（英語、中国語、韓国語）での対応や、県内はもとより国内の幅広いエリアを対象とした観光案内を行った。 （2）魅力ある観光地づくり推進事業（14,575 千円） 県と市町、観光協会等が連携して、地域資源の掘り起こしや「まち歩き」を推進するための「てくてく通信」の発行、観光実態調査などを実施するとともに、全県的なおもてなし運動を展開し、タクシー乗務員や観光業務従事者向けに「おもてなし研修会」を開催するなど、観光客の満足度の向上を図り、魅力ある観光地づくりを推進した。 （3）観光客の利便性・満足度向上事業（4,274 千円） ①観光パスポートの発行 県内観光地の周遊・滞在を促進するため、周遊スタンプラリーや連泊キャンペーン、県内飲食店等における消費拡大のためのクーポンの企画などを掲載した観光パスポート（「うどん県おもてなしパスポート」）を発行した。 ②観光施設等のトイレの洋式化 観光施設等のトイレの洋式化を推進するため、その整備に要する経費の一部を助成した。 （4）宿泊施設DX推進事業（19,019 千円） 宿泊施設におけるDXを推進するため、省力化・効率化につながる設備の導入経費の一部支援を国事業の上乗せ補助として行った。 ・補助対象施設：1 事業者あたり 2 施設 ・補助率：1／4 ・補助上限：2,500 千円	3. 指標 県外観光客数（暦年）（再掲）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>7,770</td><td>9,734</td><td>10,171</td></tr></table> 延宿泊者数（暦年）（再掲）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>3,240</td><td>4,932</td><td>4,931</td></tr></table> 外国人延宿泊者数（暦年）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>34</td><td>1,127</td><td>1,019</td></tr></table> 地域観光ガイド育成研修 ：1回 2人参加 おもてなし研修会 ：4回 61人参加 まち歩きツアー ：155 コース 延べ8,053 人参加 発行部数：60,000 部 補助施設数：4 施設 補助施設数：6 施設	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	7,770	9,734	10,171	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	3,240	4,932	4,931	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	34	1,127	1,019
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）																	
7,770	9,734	10,171																	
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）																	
3,240	4,932	4,931																	
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）																	
34	1,127	1,019																	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
(5) 宿泊業外国人材確保支援事業（5千円） 外国人材の雇用を検討している県内宿泊事業者に対し、雇用制度の概要や雇用者の受入体制等について学べる事業者向けの勉強会を開催した。	勉強会1回（R7.11） 参加者数：5事業者8名

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
広域観光推進事業（7－2－6） 1. 趣旨・概要 激化する地域間競争に打ち勝つとともに、域内交流を活発にするため、「癒しの四国観光推進事業」では、四国4県と民間事業者などで構成する（一社）四国ツーリズム創造機構と連携し、四国への広域周遊型観光の推進を図るため、首都圏や関西圏での情報発信や誘客促進を行った。 「瀬戸内ブランド推進事業」では、瀬戸内海に面する7県（兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県）や民間事業者などで構成する（一社）せとうち観光推進機構と連携し、瀬戸内の魅力を観光資源としてブランド化し、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、国内外への情報発信や瀬戸内の魅力を体感する環境整備等を実施した。 2. 具体的内容 （1）癒しの四国観光推進事業（35,000千円） ①ブランディング戦略 総合観光イベントである「ツーリズムEXPOジャパン2025」での情報発信を行った。 また、国際的な認証団体グリーン・デスティネーションズから、丸亀市が、ビジネス&マーケティング部門で世界2位、あわせてシルバーアワードを受賞した。 ②マーケティング戦略 航空会社とのタイアップキャンペーンの実施や、四国版観光アプリ「しこくるり」の開発・普及事業を実施し、利便性向上を図った。 また、首都圏・関西圏の旅行会社・運輸会社等を対象に四国観光商談会を開催した。 （2）瀬戸内ブランド推進事業（20,774千円） ①誘客戦略 送客力がある欧米豪の有力メディアを招請したFAMツアーの実施や、WEBサイト・SNS等を活用した情報発信を行った。 ②地域の魅力づくり戦略 サステナブルな観光コンテンツ（地域の伝統文化の継承や地元産品等）を造成し、造成コンテンツの販路開拓のため、せとうちエリアへの送客意識が高い旅行会社等を招請、商談会を行い、旅行商品として販売した。	3. 指標 県外観光客数（暦年）（再掲）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>7,770</td><td>9,734</td><td>10,171</td></tr></table> 延宿泊者数（暦年）（再掲）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>3,240</td><td>4,932</td><td>4,931</td></tr></table> ツーリズムEXPOジャパン2025 来場者数：延127,677人 四国観光・旅アプリ「しこくるり」 ダウンロード数（累計）：62,370人 有力メディア招聘FAMツアー ：5回 造成コンテンツ数：14件 商談会の実施：8社 旅行商品売上：458万円	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	7,770	9,734	10,171	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	3,240	4,932	4,931
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）											
7,770	9,734	10,171											
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）											
3,240	4,932	4,931											

2. 課総括表

課名：交通政策課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-3-1	運輸事業振興助成費	(203,310) 837,758	(196,086) 573,165	257,260	(7,224) 7,333	主要施策の成果の概要 (7-3-1)に記載
7-3-2	交通政策課運営費	89,764	89,763		1	交通政策課の運営に要する経費 給料43,317、職員手当等27,450 共済費14,957
7-3-3	地域公共交通確保維持改善事業等	(667,411) 2,127,016	(654,691) 1,751,235	344,132	(12,720) 31,649	主要施策の成果の概要 (7-3-3)に記載
7-3-4	瀬戸大橋関連事業費等	18,399	17,726		673	主要施策の成果の概要 (7-3-4)に記載
	課計	(870,721) 3,072,937	(850,777) 2,431,889	601,392	(19,944) 39,656	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R8.3.31現在)

課名：交通政策課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
交通政策課	(1) 10	3	(1) 13	
合計	(1) 10	3	(1) 13	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
運輸事業振興助成費（7－3－1） 1. 趣旨・概要 物流・人流の基幹的役割を担う運輸事業の振興や維持を図るため、運輸事業の振興の助成に関する法律に基づき運輸事業振興助成交付金を関係団体に交付したほか、事業者に対して支援を行った。 2. 具体的内容 （1）貨物自動車運送業等支援事業（367,097 千円） 物価高騰等により、物流の基幹的役割を担う貨物自動車運送業者等が引き続き厳しい経営状況に置かれていることを踏まえ、安全で安定した貨物輸送・旅客輸送の維持を図るため、支援金を支給した（普通貨物自動車 3 万円/台、小型貨物自動車 2 万円/台、軽貨物自動車 1 万円/台、タクシー3 万円/台）。	令和 8 年 3 月末時点で延べ 1,195 事業者、13,225 台の貨物自動車やタクシーに対して支援金を支給し、安全で安定した貨物輸送・旅客輸送の維持が図られた。						
地域公共交通確保維持改善事業等（7－3－3） 1. 趣旨・概要 利便性と結節性に優れた県全体の地域公共交通ネットワークの構築に向けて、鉄道の安全性向上、生活交通路線バスや離島航路の維持確保などに取り組んだ。 2. 具体的内容 （1）地域公共交通確保維持事業（484,707 千円） ①バス運行対策費等補助事業 （i）地域間幹線系統確保維持費等補助（125,229 千円） ・路線維持費補助 4 事業者 19 系統 ・車両減価償却費等補助 4 事業者 36 台 （ii）準幹線系統確保維持費等補助（50,406 千円） ・路線維持費補助 5 市 3 町 33 系統 ②離島航路運営費等補助（258,342 千円） ・国指定 7 事業者 7 航路 ③UDタクシー普及促進モデル事業（2,930 千円） ・8 事業者 15 台 ④公共交通事業者自動車運転手等確保支援事業（8,705 千円） 県内交通事業者の人材確保に向けた取組みに対する補助等を行った。 （i）二種免許取得費用補助 ・バス事業者 8 社 16 人分 ・タクシー事業者 17 社 53 人分 （ii）広報活動支援 ・バス事業者 5 社、タクシー事業者 4 社、鉄道事業者 2 社 ⑤公共交通利便性向上等支援事業（9,185 千円） 鉄道・バス・タクシー事業者における利用者の利	3. 指標 主な公共交通機関利用者数（千人） <table><tr><th>基準値 （ R 4 ）</th><th>実績値 （ R 7 ）</th><th>目標値 （ R 8 ）</th></tr><tr><td>31,306</td><td>36,225</td><td>38,224</td></tr></table> 地域公共交通確保維持改善協議会等において策定された生活交通確保維持改善計画等に対する支援を行い、地域公共交通の確保・維持が図られた。 県内の交通事業者の人材確保に向けた取組みの促進が図られた。	基準値 （ R 4 ）	実績値 （ R 7 ）	目標値 （ R 8 ）	31,306	36,225	38,224
基準値 （ R 4 ）	実績値 （ R 7 ）	目標値 （ R 8 ）					
31,306	36,225	38,224					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
便性向上等に係る経費に対して補助を行った。 (i) 利便性向上・業務効率化事業 28 社 (ii) 労働環境改善事業 13 社 ⑥物価高騰等に伴う公共交通利便性向上等支援事業 (7,184 千円) 物価高騰等により、経営が厳しい状況にある鉄道・バス・航路事業者を対象に、利用者の利便性向上等に係る経費の補助を行った。 (i) 利便性向上・業務効率化事業 5 社 (ii) 労働環境改善事業 5 社 ⑦地域公共交通アップデート支援事業 (22,513 千円) デジタル技術等の活用、新たな移動サービスの導入など、特に緊急度・優先度が高い市町の取組みに対して補助した。 ・ 5 市 1 町 ⑧公共交通外国人材確保検討事業 (213 千円) 県内の交通事業者を対象として、外国人材確保のためのセミナーを開催した。 (2) 地域公共交通バリア解消促進等事業 (84,709 千円) ①鉄道軌道安全輸送設備等整備事業 (75,000 千円) 鉄道の安全性向上のため、高松琴平電気鉄道㈱が実施した安全輸送設備の更新に対し補助を行った。 ②バリアフリー化設備等整備事業 (9,709 千円) 高齢者・障害者等の利便性及び安全性向上のため、ことでんが実施した太田・仏生山駅の運行案内発車標設置に対し補助を行った。 (3) 地域公共交通特別支援事業 (1,169,452 千円) ①鉄道施設老朽化対策事業 (4,436 千円) 鉄道施設の倒壊等による被害の未然防止のため、四国旅客鉄道㈱が実施した栗林高架橋高欄の長寿命化に資する改良事業に対し補助を行った。 ②鉄道施設緊急耐震対策事業 (3,317 千円) 災害発生時における鉄道利用者の安全確保を図るとともに、緊急応急活動機能を確保するため、高松琴平電気鉄道㈱が実施した元山・水田駅間の高架橋の耐震対策の設計に対し補助を行った。 ③ことでん沿線地域公共交通総合連携計画推進事業 (755,183 千円) 利便性向上や利用環境改善のため、高松琴平電気鉄道㈱が実施した太田・仏生山駅間の新駅整備及び栗林公園・仏生山駅間の複線化事業に対し補助を行った。 ④車両安全運行確保・環境改善事業 (338,646 千円) 安全・安定した運行の維持と利便性・快適性の向上による利用者の増加を図るため、ことでんの車両更新	公共交通の維持とネットワークの最適化及び利便性の確保が図られた。 県内交通事業者の外国人材の確保に向けた理解が深まった。 鉄道利用者の利便性及び安全性の向上が図られた。 鉄道施設の老朽化による倒壊等による被害の未然防止が図られた。 鉄道利用者の安全確保及び緊急応急活動機能の確保に向けた取組を進めた。 利用者拡大等に向け、新駅の整備や複線化を進めた。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
に要する経費に対して補助を行った。 ⑤公共交通利便性・満足度向上事業（67,870千円） 既存の駅トイレの老朽化が著しい駅において、新たなトイレ整備を行った。 （4）国際コンテナ貨物集荷促進事業（5,120千円） 荷主及び船社等に対するポートセールスや広報活動を行うとともに、新規・利用拡大の荷主への助成を行った。 （5）公共交通機関調査検討事業（7,247千円） ①地域交通ネットワークの充実・強化 公共交通機関利用促進のための県民への情報提供、専門家等による協議会や先進事例の勉強会の開催等を行った。 ②四国の新幹線整備啓発事業 四国4県の行政や議会、経済界で連携し、四国の新幹線導入に向けた機運醸成のため、勉強会やイベント等を開催した。また、令和6年6月から令和7年8月まで実施した署名活動について、最終的に45万2038筆が集まり、今回の署名活動を通して、地域の方に四国の新幹線を身近な現実的なものと考えてもらい、より多くの方に議論が広がったことで、一層の理解促進や機運醸成に繋げることができた。 ③国等への要望 四国の新幹線導入、公共交通への支援、離島への航路の存続に向けた支援について国に対して要望した。	駅トイレの整備により、駅利用者の利便性が向上した。 ポートセールス訪問企業84社 助成件数：35件 機運醸成イベント等の開催や要望活動等により、四国の新幹線の実現に関する理解促進が図られた。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
瀬戸大橋関連事業費等（7－3－4） 1. 趣旨・概要 瀬戸大橋の料金水準の維持や瀬戸大橋関連島しょ部の活性化を図るため、関係自治体と連携して、利用促進や島しょ部への交通手段の確保に取り組んだ。 2. 具体的内容 （1）島しょ部交通対策等事業（14,836千円） 瀬戸大橋関連島しょ部の活性化を図るため、坂出市が実施する島民及び路線バスの瀬戸大橋通行料金軽減対策に対し、補助を行った。 ①島民の通行料金軽減対策費補助 本州四国連絡高速道路㈱が35%、坂出市が45%を負担し、県は坂出市に対して負担額の1/2を補助した。 ・市事業費：23,865千円、県補助額：11,932千円 ②瀬戸大橋路線バスの通行料金軽減対策費補助 本州四国連絡高速道路㈱が30%割引を実施、坂出市は割引後の通行料金相当額を負担し、県は坂出市に対して負担額の1/2を補助した。 ・市事業費：5,809千円、県補助額：2,904千円 （2）瀬戸大橋関連事業費（2,790千円） 与島第二駐車場の維持管理を行った。	島民の通行料金軽減や瀬戸大橋路線バスの運行維持など、島民の交通手段確保が図られた。

2. 課総括表

課名：空港振興課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-4-1	「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業	12,817	12,174		643	主要施策の成果の概要 (7-4-1)に記載
7-4-2	観光客受入態勢整備事業	7,057	6,266		791	主要施策の成果の概要 (7-4-2)に記載
7-4-3	国際観光推進事業	724,160	686,837		37,323	主要施策の成果の概要 (7-4-3)に記載
7-4-4	高松空港振興対策事業	(47,000) 696,175	(47,000) 695,291		884	主要施策の成果の概要 (7-4-4)に記載
7-4-5	給与費	126,428	126,428			空港振興課職員の給与費等 給料63,865、職員手当等39,427、 共済費23,136
7-4-6	駐車場事業特別会計繰出金	226	55		171	一般会計から駐車場特別会計へ繰り出すもの
7-4-7	空港振興事務費	978	978			空港振興課の運営等に要する経費
	課計	(47,000) 1,567,841	(47,000) 1,528,029		39,812	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R8.3.31現在)

課名：空港振興課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
空港振興課	(3) 16		(3) 16	
合計	(3) 16		(3) 16	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業（7－4－1） 1. 趣旨・概要 県内全域に観光客の誘致を図るため、琴平、栗林公園、屋島、小豆島といった老舗観光地を中心に、イベントや情報発信などを行う誘客キャンペーンを実施した。	3. 指標 県外観光客数（暦年）（千人） <table><tr><th>基準値 （R 4）</th><th>実績値 （R 7）</th><th>目標値 （R 8）</th></tr><tr><td>7,770</td><td>9,734</td><td>10,171</td></tr></table> 延宿泊者数（暦年）（千人） <table><tr><th>基準値 （R 4）</th><th>実績値 （R 7）</th><th>目標値 （R 8）</th></tr><tr><td>3,240</td><td>4,932</td><td>4,931</td></tr></table> 東京（成田）線の利用者数は、前年度比 98.6%の 261,855 人となった。	基準値 （R 4）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）	7,770	9,734	10,171	基準値 （R 4）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）	3,240	4,932	4,931
基準値 （R 4）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）											
7,770	9,734	10,171											
基準値 （R 4）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）											
3,240	4,932	4,931											
2. 具体的内容 （1）国内線（成田線）誘客促進事業（12,174 千円） 若年層を主なターゲットとし、航空会社と連携した各種キャンペーンやInstagram等SNSを利用した情報発信など、成田-高松線を活用した本県への誘客を図る観光プロモーションを実施した。 また、成田市でのイベントにおけるプロモーションやインフルエンサーを活用した情報発信など、本県の認知度を高め、訪問意欲を向上させる取組みを行った。													

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
観光客受入態勢整備事業（7－4－2） 1．趣旨・概要 本県を訪れる観光客の満足度と利便性の向上を図るため、多言語コールセンターの運営や、地域通訳案内士や県内事業者を対象とする講習会の開催など、観光客の受入態勢の充実・強化を行った。 2．具体的内容 （1）外国人観光客受入環境向上事業（6,266 千円） 外国人観光客の本格的な受入れに向けて、多言語コールセンターの運営による県内の観光施設、宿泊施設、飲食店等への多言語通訳・翻訳サービスの支援、地域通訳案内士や県内事業者を対象とする講習会などを行った。	3．指標 外国人延宿泊者数（暦年）（千人） <table><tr><th>基準値 （R 4）</th><th>実績値 （R 7）</th><th>目標値 （R 8）</th></tr><tr><td>34</td><td>1,127</td><td>1,019</td></tr></table> 多言語通訳・翻訳コールセンターの利用 状況：登録事業者数：30 件、3 月末までの 利用実績：通訳 95 件、翻訳 328 件 講習会の開催 3 回 41 人	基準値 （R 4）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）	34	1,127	1,019
基準値 （R 4）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）					
34	1,127	1,019					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																																				
国際観光推進事業（7－4－3） 1. 趣旨・概要 観光香川の魅力を海外に向けて情報発信するとともに、旅行会社等の招請や旅行博への出展等の誘客活動を行った。 2. 具体的内容 （1）ビジット香川誘客重点促進事業（659,429 千円） ①韓国 公式SNS（インスタグラム）やブログ、各種メディアを活用した継続的な情報発信、韓国のインフルエンサー等の招請のほか、「瀬戸内国際芸術祭 2025 セミナー」の開催などを行った。 ②中国 公式SNS（微博、微信、小紅書）による情報発信や上海・蘇州で「瀬戸内国際芸術祭 2025 セミナー」などを行った。 ③台湾 公式SNS（フェイスブック等）による情報発信や県内観光事業者と現地旅行会社との商談会の実施、「台北国際旅行博(ITF)」等への出展などを行った。 ④香港 公式SNS（フェイスブック等）による情報発信や香川県PR動画の制作、「ブックフェア」への出展などを行った。 ⑤その他 公式SNS（フェイスブック）を活用した継続的な情報発信や旅行会社等へのセールスコール、タイでの「ビジット・ジャパン FIT フェア」への出展などを行った。 （2）国際イベント等を活用した誘客対策事業 (3,845 千円) (一社)せとうち観光推進機構や東京観光財団、近隣県等と連携し、商談会の開催や、旅行会社やメディアの招請などを行った。 （3）外国人観光客受入環境向上事業（6,266 千円）（再掲）	3. 指標 外国人延宿泊者数（暦年）（再掲）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>34</td><td>1,127</td><td>1,019</td></tr></table> 外国人延宿泊者数（暦年）（従業者数 10 人以上の施設） <table><tr><th></th><th>R7 年実績値 （人泊）</th><th>前年比 （倍）</th></tr><tr><td>韓国</td><td>162,160</td><td>1.1</td></tr><tr><td>中国</td><td>168,420</td><td>1.2</td></tr><tr><td>台湾</td><td>319,120</td><td>1.3</td></tr><tr><td>香港</td><td>62,050</td><td>1.0</td></tr><tr><td>タイ</td><td>3,020</td><td>0.9</td></tr><tr><td>ベトナム</td><td>1,270</td><td>1.1</td></tr><tr><td>アメリカ</td><td>27,150</td><td>1.3</td></tr><tr><td>フランス</td><td>9,870</td><td>1.2</td></tr><tr><td>オーストラリア</td><td>14,870</td><td>1.4</td></tr></table>	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	34	1,127	1,019		R7 年実績値 （人泊）	前年比 （倍）	韓国	162,160	1.1	中国	168,420	1.2	台湾	319,120	1.3	香港	62,050	1.0	タイ	3,020	0.9	ベトナム	1,270	1.1	アメリカ	27,150	1.3	フランス	9,870	1.2	オーストラリア	14,870	1.4
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）																																			
34	1,127	1,019																																			
	R7 年実績値 （人泊）	前年比 （倍）																																			
韓国	162,160	1.1																																			
中国	168,420	1.2																																			
台湾	319,120	1.3																																			
香港	62,050	1.0																																			
タイ	3,020	0.9																																			
ベトナム	1,270	1.1																																			
アメリカ	27,150	1.3																																			
フランス	9,870	1.2																																			
オーストラリア	14,870	1.4																																			

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
高松空港振興対策事業（7－4－4） 1．趣旨・概要 香川県の経済の活性化や拠点機能の向上のため、高松空港における国内路線網及び国際路線網の維持拡充や施設整備を図った。 2．具体的内容 （1）航空ネットワーク振興対策事業（384,476千円） 県民全体の交通便利性の確保や地域間の経済・文化交流の手段としての航空ネットワークを維持、拡充させるため、既設路線の利用促進や新規路線の開設について航空会社へ要望を行うなど、以下の事業に対して、経費の負担等を行った。 ①広報・要望活動等 高松空港のホームページ等における既設路線の広報活動を行うとともに、国に対し、国際線のグラントハンドリング等の運航経費の支援や、カテゴリーⅢの計器着陸装置（ILS-CATⅢ）の早期整備等の要望を行った。 ②東京（羽田・成田）線 羽田線においては、若年層向けに運賃割引キャンペーンを実施したほか、高松駅前においてデジタルサイネージ広告の掲出による情報発信を行った。成田線においては、テレビCMの放送やWeb広告の配信による情報発信や、県内大学等でのイベント等を活用した路線PRに努めた。 ③那覇線 タウン情報誌への掲載による情報発信のほか、近県の商業施設で路線PR及びキャンペーンを実施し、利用促進等に努めた。 ④ソウル線 Webを活用した各種キャンペーンを行うなど、利用促進を図るとともに、新聞・雑誌など様々な媒体を活用した路線PRに努めた。 ⑤上海線 旅行会社に対する広告支援などの利用促進に努めたほか、高松空港株式会社が主催するイベントにおいて路線PRを行った。 ⑥台北線 交通系ICカードを配布するキャンペーンを行うなど利用促進に努めたほか、県内外の台湾フェアでのPRイベント開催などのプロモーションを行った。 ⑦香港線 チラシの県内・隣県での配布、WEB広告といった各種媒体を活用した情報発信により利用促進を	3．指標 定期航空路線利用者数（万人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>133</td><td>222</td><td>221</td></tr></table> 国内線の利用者数について、羽田線は、前年度比108.1%の1,333,312人、成田線は、前年度比98.6%の261,855人、那覇線は、前年度比86.4%の110,226人となった。 ソウル線は、ダブルトラック化（令和6年7月）2年目を迎え、年間を通してダブルトラック運航が行われたことにより、利用者数は対前年度比104.8%の217,894人となった。 上海線は、旅行需要の低迷により、対前年度比66.6%の42,186人となった。 台北線は、令和7年3月の増便等により、対前年度比141.7%の99,436人となった。 香港線は、令和6年11月からデイリー運航となったものの、旅行需要の低迷	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	133	222	221
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）					
133	222	221					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
図ったほか、高松空港リムジンバスのラッピング広告を行って路線PRに努めた。 ⑧台中線 旅行会社に対する広告支援などの利用促進に努めたほか、高松空港リムジンバスのラッピング広告や県内外の商業施設でPRイベントを開催するなどのプロモーションを行った。 ⑨釜山線 高松空港株式会社と連携した航空会社へのセールスにより、高松－釜山線が3月31日に期間運航で新規就航し、高松空港リムジンバスのラッピング広告やSNS広告などを通じて路線PRに努めた。	等により、対前年度比97.7%の83,555人となった。 台中線は、令和7年3月の増便等により、対前年度比144.8%の75,012人となった。 釜山線の利用者数は、363人であった。
(2) 直轄空港整備費負担金(263,194千円) 国管理空港である高松空港において国が行う整備事業に要する経費の一部について、空港法第6条による負担を行った。	滑走路端安全区域(RESA)整備に向けて、本体工事(用地造成等)に着手した。

2. 課総括表

課名：県産品振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-5-1	給与費	118,157	118,082		75	県産品振興課職員の給与費 給料62,060、職員手当等35,974 共済費20,048
7-5-2	県産品振興事務費	6,361	6,052		309	県産品振興事業推進のために要する経費
7-5-3	香川の逸品戦略的販路拡大事業等	117,862	91,290		26,572	主要施策の成果の概要 (7-5-3)に記載
7-5-4	県産品海外輸出戦略協議会運営費	200			200	関係団体等との県産品認知度向上と販路拡大に関する情報交換及び輸出課題の検討会に要する経費
7-5-5	伝統的工芸品等販路拡大事業	14,073	13,496		577	主要施策の成果の概要 (7-5-5)に記載
7-5-6	「かがわの食」Happyプロジェクト事業	69,160	66,850		2,310	主要施策の成果の概要 (7-5-6)に記載
7-5-7	“香川×岡山”つながる食の大博覧会事業	29,000	28,328		672	主要施策の成果の概要 (7-5-7)に記載
7-5-8	県産品アンテナショップ機能強化事業	26,692	26,063		629	主要施策の成果の概要 (7-5-8)に記載
7-5-9	東京アンテナショップ運営事業	50,844	50,841		3	主要施策の成果の概要 (7-5-9)に記載
7-5-10	高松空港ビル等県産品PR事業	559	535		24	高松空港ビルにおける県産品PRコーナーの運営に要する経費
	課計	432,908	401,537		31,371	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R8.3.31現在)

課名：県産品振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
県産品振興課	(17) 15	1	(17) 16	育児休業1名
合計	(17) 15	1	(17) 16	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
香川の逸品戦略的販路拡大事業等（7－5－3） 1. 趣旨・概要 国内の首都圏等の大消費地や、近隣アジア諸国や北米などの海外市場をターゲットに、総合的な情報発信や販売活動を行い、県産品のブランド力の強化と戦略的な販路開拓・拡大を推進した。 2. 具体的内容 （1）県産品販路拡大推進事業（32,206 千円） 首都圏や関西圏の大消費地をターゲットに、百貨店等での香川県フェアの開催や、卸・仲卸業者が有する販売ルートの活用により、量販店やレストランへの販路拡大を図るとともに、大阪・関西万博を見据え関西圏の外資系ホテル等のレストランにおいて、フェアを実施し、県産食材の認知度向上及び販路開拓に努めた。 また、首都圏レストランシェフ・バイヤー等を対象とした試食会の開催などにより、香川の優れた食材の積極的な情報発信を行った。 （2）海外販路開拓推進事業（21,900 千円） 近隣アジア諸国等をターゲットに、国・地域ごとの輸入制度等に応じて選定した輸出品目について、現地百貨店等でのフェアの開催等を通じて認知度の向上に努めたほか、輸出入業者や関係団体との連携を強化し、継続的な販売促進と新たな販路の開拓に取り組んだ。 また、県産品の海外への販路拡大に関する連携協定を締結したグローバル企業との取組みを強化し、アジアの店舗において新たに水産物フェアを実施したほか、米国の店舗で開催されるフェアへの事業者出展を促進し、販路拡大を図った。 （3）県産品情報発信強化事業（4,439 千円） 県産品ポータルサイト「LOVEさぬきさん」を活用し、県産品の魅力を写真や動画、ブログなどでタイムリーに伝えるとともに、SNS 広告等を活用したデジタルプロモーションを実施したほか、県産オリーブを使用した県産品の認証制度に取組み、百貨店等でPR フェアを実施するなど、県産品の認知度向上とブランド化に取り組んだ。 （4）県産品コンクール開催事業（784 千円） 県産品の商品開発を促進するとともに、県を代表する県産品の掘り起こしを行うことを目的に、県産品を集めたコンクールを実施した。（23 回目）	3. 指標 県産品の国内販売額（県サポート実績）（千円） <table><tr><th>基準値 （R 2）</th><th>実績値 （R 7）</th><th>目標値 （R 8）</th></tr><tr><td>2,004,239</td><td>2,857,949</td><td>2,436,000</td></tr></table> 百貨店等フェア開催店舗数 令和5年度実績：延べ108 店 令和6年度実績：延べ196 店 令和7年度実績：延べ216 店 レストランフェア開催店舗数 令和5年度実績：13 店 令和6年度実績：12 店 令和7年度実績：14 店 県産品の海外販売額（県サポート実績）（千円） <table><tr><th>基準値 （R 2）</th><th>実績値 （R 7）</th><th>目標値 （R 8）</th></tr><tr><td>290,491</td><td>734,232</td><td>500,000</td></tr></table> 海外でのフェア・商談会等開催回数 令和5年度実績：24 回 令和6年度実績：38 回 令和7年度実績：36 回 サイトアクセス数 令和5年度実績：1,159,934PV 令和6年度実績：1,102,591PV 令和7年度実績：1,183,946PV 香川県産オリーブ関連商品認証商品数 認証商品数：287 品（84 事業者） 応募数：93 品 部門数：4 部門 受賞数：知事賞4 品、優秀賞4 品	基準値 （R 2）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）	2,004,239	2,857,949	2,436,000	基準値 （R 2）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）	290,491	734,232	500,000
基準値 （R 2）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）											
2,004,239	2,857,949	2,436,000											
基準値 （R 2）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）											
290,491	734,232	500,000											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
(5) 北米市場への販路開拓加速化事業 (4,781 千円) 市場規模の大きい米国での販路開拓・拡大を図るため、県内事業者が積極的に輸出に取り組めるよう、米国における日本食展示会の出展や輸出に必要な認証の取得を支援した。	JAPANESE FOOD EXPO 2025 in ロサンゼルス 参加県内事業者：3 社 米国FDA食品施設登録・規制に係る支援事業補助実績 令和7年度実績：1 件
(6) 清酒用原料米高騰対策支援事業 (27,180 千円) 酒米価格高騰等により、経営が厳しい状況にある県内酒蔵に対して、酒米購入経費の一部を助成し、経営の安定化、ひいては「伝統的酒造り」の保護・継承を図った。	香川県清酒用原料米高騰対策事業費補助実績 令和7年度実績：1 件

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
伝統的工芸品等販路拡大事業（7－5－5） 1. 趣旨・概要 地場産品・伝統的工芸品等の関係団体と緊密に連携し、首都圏などの大消費地や海外市場をターゲットに、様々なプロモーションによる積極的な情報発信を展開するとともに、販路拡大に取り組んだ。 2. 具体的内容 （1）小売店対策（9,244 千円） 地場産品・伝統的工芸品の認知度向上及び販路拡大を図るため、常時取引が可能で、情報発信力に優れたセレクトショップ等と連携し、関西圏や首都圏店舗での展示販売やオンラインショップでのフェアを開催したほか、フェア終了後の継続販売につなげた。 （2）新商流確保対策（1,257 千円） 香川の「BONSAI」ブランディング事業で、南フランスを訪問し、富裕層の顧客を持つ地元園芸店で意見交換等を実施し、バイヤーの来県につなげることにより、EUにおける販路の拡大を図った。 （3）香川の「BONSAI」ブランディング事業（2,995 千円） 南フランスにおいて、カンヌ市等の交流事業をはじめ、5つ星ホテルへの表敬訪問や美術館等で盆栽師によるデモンストレーション・PRイベントを実施し、富裕層と一般消費者それぞれに対し、高松盆栽の魅力を強く発信した。 また、ブランディング事業取材したフランスの人気盆栽 Youtuber が来県し、EUの盆栽愛好家に向けて香川の盆栽の魅力配信を行った。	3. 指標 県産品の国内販売額（県サポート実績）（再掲）（千円） <table><tr><th>基準値 （R 2）</th><th>実績値 （R 7）</th><th>目標値 （R 8）</th></tr><tr><td>2,004,239</td><td>2,857,949</td><td>2,436,000</td></tr></table> 県産品の海外販売額（県サポート実績）（再掲）（千円） <table><tr><th>基準値 （R 2）</th><th>実績値 （R 7）</th><th>目標値 （R 8）</th></tr><tr><td>290,491</td><td>734,232</td><td>500,000</td></tr></table> 首都圏店舗での「香川県フェア」の開催 開催箇所：4 か所 開催日数：延べ 214 日 出展事業者数：延べ 79 事業者 オンラインショップでの「香川県フェア」の開催 開催箇所：1 か所 開催期間：10 月～3 月 出展事業者数：6 事業者	基準値 （R 2）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）	2,004,239	2,857,949	2,436,000	基準値 （R 2）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）	290,491	734,232	500,000
基準値 （R 2）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）											
2,004,239	2,857,949	2,436,000											
基準値 （R 2）	実績値 （R 7）	目標値 （R 8）											
290,491	734,232	500,000											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
「かがわの食」Happy プロジェクト事業（7－5－6） 1. 趣旨・概要 食をテーマとしたイベントやフェアの開催、食のアンテナショップなどによる情報発信等を通じて、県民や観光客に対して、県産品の認知度向上と販売促進を図った。 2. 具体的内容 （1）観光客「かがわの食」プロモーション事業 （5,923 千円） 県内の飲食店と連携し、オリーブ食材や地魚等を使った各店お薦めメニューを提供するレストランフェアを開催するとともに、食に関するインフルエンサーを起用したSNSプロモーションを実施し、利用促進を図った。 （2）県民「かがわの食」プロモーション事業 （48,927 千円） ①さぬきマルシェ事業 県産食材や加工品の生産者が消費者に対面で販売するマルシェ（欧風市場）の開催を支援し、魅力ある香川の「食」の情報発信を行った。 ②うまいもん出前講座事業 オリーブやオリーブ牛などの品目ごとに、生産者や販売業者等で構成される「うまいもん広め隊」を9隊結成し、小中高等学校、特別支援学校への出前講座を通じた県産食材のPRを行った。 ③レストラン・飲食店連携事業 県産食材を使用した幅広い料理を提供する情報発信力の高いレストラン「さぬきダイニング」を活用した情報発信を行った。 ④情報発信事業 県内のマスメディア等と連携し、県産食材の魅力や食の事業等の情報発信を行うことにより、県産品の認知度向上と販路拡大を図った。 ⑤食事業連携事業 業界団体と連携し、「年明けうどん」の普及に向けたPRを行うとともに、民間団体等が行う商品開発や販売手法等を活用して、香川の食を広くPRした。 ⑥民間事業者連携事業 県内の飲食店や量販店等と連携し、県産食材を活用した商品を開発し販売することにより、県産食材の認知度向上と消費拡大を図るとともに、全国からご当地うどんを集めたイベント「全国ご当地うどんサミット in さぬき」の開催を支援し、本県のブランド力の向上を図った。	3. 指標 県産品の認知度（重点産品）（％） <table><tr><th>基準値 （R2）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>24.4</td><td>25.4</td><td>28.8</td></tr></table> 令和8年8月1日～12月15日 ※瀬戸内国際芸術祭の夏・秋会期に合わせて開催 参加飲食店：県内の飲食店延べ200店 開催実績：11回 出店数：延べ631店(57店/回) 来場者数：117,090人(10,645人/回) 講座開催数：27校27回実施 「さぬきダイニング」：27店舗 年明けうどん提供店：122店 給食用メニュー提供校：190校（小・中） 恵方巻・ロール販売数：4,533本 月見だんご販売数：4,021個 全国ご当地うどんサミット in さぬき 出展ブース数：19ブース 来場者数：35,600人	基準値 （R2）	実績値 （R6）	目標値 （R8）	24.4	25.4	28.8
基準値 （R2）	実績値 （R6）	目標値 （R8）					
24.4	25.4	28.8					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
(3) サンポート高松プロムナード Sunday フェスティバル開催事業 (12,000 千円) 新たに整備されたサンポート高松地区プロムナードを活用し、「あなぶきアリーナ香川」をはじめサンポート地区に訪れる県内外の観光客や県民を対象に、食や工芸品の体験型ワークショップや香川の伝統芸能体験、キッチンカーによる県産グルメの提供に加え、地元ミュージシャンによるライブや大道芸といったエンターテインメントコンテンツを実施し、県産品の魅力発信と賑わい創出を図るイベントの開催を支援した。	開催回数：25 回（土・日・祝日） 来場人数：47,172 人

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
“香川×岡山” つながる食の大博覧会事業（7－5－7） 1. 趣旨・概要 備讃瀬戸に面した岡山県と連携し、瀬戸内の気候風土に育まれた両県の「食」の県産品を集めたイベントを両県で1回ずつ開催し、県産品の認知度向上と販売拡大を図った。 2. 具体的内容 （1） “香川×岡山” つながる食の大博覧会事業 (28,328千円) 岡山県と連携し、両県の食の県産品を集めたイベントを開催し、ブースやキッチンカーでのPR販売やワークショップ、ステージイベント等により、県産品の魅力発信を行った。令和7年度は県立アリーナ開館記念としてあなぶきアリーナ香川で開催した。	3. 指標 開催実績 【香川会場】 あなぶきアリーナ香川 令和7年5月24日（土）、25日（日） 出展ブース数：80 団体 91 ブース 来場者数 : 34,302 人 【岡山会場】 コンベックス岡山 令和7年9月20日（土）、21日（日） 出展ブース数：67 ブース 来場者数 : 25,896 人

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
県産品アンテナショップ機能強化事業（7－5－8） 1. 趣旨・概要 「かがわ物産館 栗林庵」、「香川・愛媛せとうち旬彩館」を拠点に、県産品の効果的な情報発信や魅力ある県産品の掘り起こし、消費者の反応のフィードバック等による売れる商品づくりの支援等を通じて、県産品のブランド化と県内外へのより一層の販路拡大を図った。 2. 具体的内容 （1）県産品アンテナショップ機能強化事業（12,626 千円） 栗林庵において県産品のフェアや各種イベントを開催したほか、県内事業者が栗林庵で実施するワークショップを支援することにより、県産品の認知度向上と販売促進を行った。 また旬彩館において、県産品の消費喚起「売れる」県産品の掘り起こしや商品改良アドバイスを行ったほか、イベントコーナーでのテストマーケティングを実施する県内事業者への支援を行った。 （2）県産品ECサイト強化事業（11,691 千円） 付加価値の高い伝統的工芸品等の販売を促進するため、県産品ECサイトを改修したほか、首都圏での展示販売やメディアによる情報発信を行った。 （3）期間限定大阪アンテナショップ設置事業 （1,746 千円） 関西圏における県産品の認知度向上やブランド力強化を図るため、阪急大阪梅田駅において、県産品の効果的な情報発信を行うとともに、販売促進を行った。	3. 指標 アンテナショップの販売額（物販） （千円） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R7）</th><th>目標値 （R8）</th></tr><tr><td>420,693</td><td>524,446</td><td>463,777</td></tr></table> 栗林庵店舗販売額 令和5年度実績：302,947 千円 令和6年度実績：289,440 千円 令和7年度実績：328,667 千円 栗林庵オンラインショップ販売額 令和5年度実績：13,839 千円 令和6年度実績：12,841 千円 令和7年度実績：13,029 千円 リニューアル休業期間 令和7年9月26日～30日（5日間） リニューアルオープン 令和7年10月1日（水） 期間限定大阪アンテナショップ 期間：令和7年6月5日～16日 場所：阪急大阪梅田駅2階中央催事店 来店者数：10,380 人	基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）	420,693	524,446	463,777
基準値 （R4）	実績値 （R7）	目標値 （R8）					
420,693	524,446	463,777					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
東京アンテナショップ運営事業（7－5－9） 1. 趣旨・概要 愛媛県と共同設置の東京アンテナショップ「香川・愛媛せとうち旬彩館」を拠点に、首都圏における県産品のイメージアップや販路拡大、観光情報の発信を行った。 2. 具体的内容 （1）店舗賃借費（43,695 千円） 所在地：東京都港区新橋二丁目 19-10 新橋マリビル1・2階 493.10 m ² （2）管理費等（7,146 千円） 両県で組織する運営協議会により、管理運営を行った。 また、首都圏に開設しているアンテナショップが連携して行うイベントへの参加を通じて、より一層の認知度向上を図った。	3. 指標 アンテナショップの販売額（物販） （再掲） <table><tr><th>基準値 （ R 4 ）</th><th>実績値 （ R 7 ）</th><th>目標値 （ R 8 ）</th></tr><tr><td>420,693</td><td>524,446</td><td>463,777</td></tr></table> せとうち旬彩館販売額 令和5年度実績：166,156 千円 令和6年度実績：173,093 千円 令和7年度実績：182,749 千円	基準値 （ R 4 ）	実績値 （ R 7 ）	目標値 （ R 8 ）	420,693	524,446	463,777
基準値 （ R 4 ）	実績値 （ R 7 ）	目標値 （ R 8 ）					
420,693	524,446	463,777					